

ソニー生命カップ 第44回全国レディーステニス大会 全国決勝大会

日時：2022年11月10日(木)～12日(土) 会場：東京都昭島市 昭和の森テニスセンター

1R VS鹿児島県 2-1		2R VS鳥取県 3-0		3R VS東京都 0-3	
No. 1	2-0(64・64)	No. 1	2-0(61・62)	No. 1	0-2(06・26)
No. 2	2-0(62・63)	No. 2	2-0(61・60)	No. 2	1-2(06・76(4)・6-10)
No. 3	1-2(63・46・6-10)	No. 3	2-0(60・63)	No. 3	0-2(46・06)

ベスト16

感動をありがとう！



全国レディースの為の1年間でした。
県代表を取り全国でも勝てるようにとテニス中心に必死に駆け抜けた生活もようやく一息。今は少し寂しい気持ちと達成感に満たされています。試合は「リラックスしすぎたか?!」というくらい普段通りに楽しめ、優勝チームである東京戦ではストローク力の大きな課題を見つける事が出来ました。負けてしまった後に「感動をありがとう」と応援の方から声をかけられ、団体戦、全国レディースの空気感って良いなと心が熱くなりました。コーチ、監督を始め、宮城から多くの応援の方々に見守られ、声援を頂き、本当にありがとうございました。

No1 富山 さやか

夢の昭和館!! 嬉しい全国レディースでした。
最後まで笑顔で一緒に頑張ってくれた美幸ちゃん。隣にいてくれて心強かったし楽しい時間でした。ありがとう。
メンバー、竹ヶ原監督、星山支部長、役員さん、コーチ陣、関わってくれた方々。心から感謝しています。
またいつの日かこの舞台に立てるようにたくさん練習して、苦手を克服しようと思います。
本当にありがとうございました。

No2 小川 史絵

昨年の1回戦敗退の悔しさを晴らすべく試合に挑みました。1回戦対鹿児島との試合は、最初の良い流れを維持する事が出来ず負けてしまいましたが、メンバーのみんなに助けられ3回戦まで勝ち進む事が出来、夢の昭和館に宿泊出来ました。
反省点は多々ありますが、他県の素晴らしいプレーを沢山見る事が出来たので、今後の練習に活かしていきたいと思います。竹ヶ原監督、女子連スタッフ、応援して下さい皆様、本当にありがとうございました。

No3 根本 真弓

去年、全国の舞台で何も出来なかった悔しい思い出が鮮明に残っていた1年間。自分の力を100%発揮するだけと臨んだ試合でしたが、やはり練習の成果を出せたのはほんのわずかだけ。練習の量と質、そして心と身体の絶妙なバランスの取り方の難しさを感じました。
今回の2勝はペア、そしてチームのおかげです! 有観客の会場で戦えて、そして昭和館に泊まる事が出来て、3回目の節目の大会としてとても良い思い出になりました! 全国には目標になる選手がたくさんいました。またいつか、この舞台に戻って来たいです。

No1 豊田 由実子

ペアの小川さん、チームの皆、監督や役員の皆様、応援して下さい皆様のおかげでとても楽しく有意義な大会となりました。
ありがとうございました。
目標としていた昭和館に皆で泊まれた事も良い思い出となり嬉しく思います。試合の結果は三回戦負けという悔しいものとなりましたが、試合を重ねる毎にたくさんの課題に気付くことができました。この経験を糧にこれから課題を克服できるよう練習していきたいと思います。
引き続きご指導の程、宜しくお願い致します。

No2 助永 美幸

監督、スイッチ押してくれて…ネモっちゃん、この数ヶ月一緒に闘ってくれて…若手の皆、興奮し感動する試合と楽しく快適な旅を…心強かった応援団の皆さん…力をくれた友 感謝です。本当に有難うございました。47都道府県が県旗を掲げる感動の開会式から始まり、若手の活躍で(選手憧れの)昭和館に泊まれた事や11月11日に(優勝した)東京チームと戦えた事は幸せでした。後悔し反省し落ち込んでいる時は発破を掛け、嬉しい時・楽しい時・面白い時は一緒に盛り上げてくれるメンバーと過ごせ、改めて団体戦の良さを実感出来た《最幸の全レ》でした。
やっぱり…全レ大好き!全レ最高!です♡

No3 赤間 裕美子

ライブ配信での応援やこのコロナ禍の中直接来て頂いた方、皆さまの応援が力となって12年ぶりにベスト16に入る事が出来ました。練習会などでご指導頂いた全ての方に感謝します。本当にありがとうございました。

監督 竹ヶ原 靖子